

# インターアクト海外研修報告

インターアクト委員会 委員長

**松井隆雄** (大阪天王寺RC)

本年度の海外研修は8月4日～8日まで現地3泊5日の行程でRⅠ第3350地区タイ・バンコクを訪問しました。

参加者は6校(清風・相愛・金光八尾・四天王寺・浪速・大阪桐蔭)のインターアクター30名、顧問の先生7名、ロータリアン13名、ガバナー事務所事務局長、看護師、合計52名。当地は昨年度に第2660地区のローターアクター28名が海外研修で訪問したところでもあります。

## 第1日目

関西国際空港4階特別会議室で結団式(出発式)を行いました。早朝から福家ガバナー・泉ガバナーエレクト・IM8組の新見ガバナー補佐ご夫妻にご臨席頂き、また多数の提唱クラブ(大阪南・大阪・八尾・大阪天王寺・大阪帝塚山・大東)のロータリアンと保護者の皆様が見送りに来て頂きました。

福家ガバナーの挨拶の中で「可愛い犬が近づいて来ても、手を出さないように、注意して下さい。噛まれると狂犬病になり大事になります」との言葉は現地で全員が犬に敏感に反応していたのが印象的でありました。

日頃6校のインターアクトクラブは個別に奉仕活動をしています海外研修はインターアクター全員が一致団結して行動することを誓い、タイ・バンコクへ向け出発しました。Suvarnabhumi(スワンナプーム)国際空港に到着すると、RⅠ第3350地区のPP(直前会長)Boonlert kidsomkiatさん、Assistant Governor(ガバナー補佐)Somboonさんら多数のロータリアンに出迎えられました。

空港から約40分間バスに乗り宿泊先のザ・ツインタワーズ・ホテルバンコクに到着、チェックイン後小休止をして再び専用バスでタイ古典舞踊のディナーショーを見るためSILOMVILAG(シーロンビレッジ)に行き、そこでタイ料理の食事をした後、ホテルに戻り、河内音頭のリハーサルをしました。

## 第2日目

エメラルド寺院・王宮見学後、交流会の会場であるSrivikorn Highschool(シリビヨンハイスクール)行きました。学校の体育館・講堂に通されインターアクターによる管弦楽の演奏と美しい歌声で歓迎を受けました。

用意された昼食を頂き、グループに分かれ校舎内の教室・図書室・実験室・音楽室・コンピューター室・理科(生物)標本室・談話室・遊戯室・インターアクトクラブ部屋等の全館を案内して貰い、授業中の風景やジニアスクラスのゼミを見学させていただきました。この学校は幼児から高校生までの総合教育をする私的教育機関でありました。(学校の理事長がロータリアンとお聞きしました。)カリキュラムが個性重視・子供中心・英語プログラムに組み込まれており、設備の整った広大な敷地に建てられた校舎は富裕層子弟の英才教育の環境に創られていることに感激しました。

夕刻からRⅠ第3350地区ガバナー Prawitrojkaajonnapalai氏が来られ、Srivikorn Highschoolのインターアクターの司会による夕食会と交流会が開かれました。日本のインターアクターは浴衣に着かえグループごとにタイのインターアクターとテーブルを囲み食事と談話をして楽しく交流を深めておりました。Prawitrojkaajonnapalai氏から歓迎の言葉を受け、タイロータリー旗やタイ人形の贈呈を受け、記念品の交換、パナーの交換等たくさんの贈り物を頂き、プロのグループによるタイ歌謡や日本の歌謡曲が披露され、日本のインターアクターとロータリアンは法被をはおり手にうちわを持ち河内音頭を披露しました。途中からは両国の会場にいた人たちが入り、乱舞し交流会は絶好調になり、タイのインターアクターによる舞踊や歌が絶唱され交流会は最高潮に達しました。踊り終え法被とうちわをタイのインターアクターやロータリアンに差し上げました。

閉会時にはRⅠ第3350地区バスターガバナー Chairat Presertlum氏が駆けつけて来られ閉会の挨拶を受けました。全員で記念撮影をして、タイのインターアクターやロータリアンと別れを告げ宿泊先への帰路につきました。

## 第3日目

早朝よりバンコクから130キロ離れたカンチャナブリーへ行きました。タイのインターアクターも同行して日本のインターアクターとの交友を深めていました。

洞窟時で浮遊する尼さんのショーをみて、象の背中に乗ってジャングルクルーズを楽しみました。竹で作っ

たいかだに乗って川下りをしました。いかだを操る船頭は前日交流会で会ったインターアクターと同じ年頃か、それ以下の少年でありました。稚拙な竿捌きにもまして働く姿を見てタイの地方と都市との国民の間に著しい貧富の差を感じ、感傷的になりました。

旧泰緬鉄道の列車に乗りクワイ(クウエー)川鉄橋を渡るため待つこと1時間20分・乗車時間(一駅)20分・その間車内でのドリンクサービスと絵葉書等の車内販売がありました。バスに乗り換えクワイ川鉄橋に向かい、映画「戦場に架ける橋」の舞台になったクワイ川鉄橋を歩いて渡りました。

## 第4日目

水上マーケット(DamnoenSaduak)に行くため運河を航行する6人乗りのロングテールボートに乗り込みました。運河の両岸には古い民家が並んでいましたが、景観を楽しむ遊覧船とは違いました。その後はバンコク市内の免税店や民芸品店へショッピングにタイのインターアクトと行動を共にしていました。

帰国準備を済ませホテルの夕食会場で解団式を行いました。

委員長として今回の海外研修の総評を行いました。

ハードなスケジュールであった感が致しました。一時体調を崩した生徒(インターアクター)がおりました

が、事故もなく全員元気に帰国できることが何よりであります。出発の際、6校のインターアクター全員が一致団結して助け合い、協力して行動して下さいとお願いしましたが見事にこのお願いを聞いていただき自覚と責任ある行動をとって頂きましたことを感謝いたします。二日目の交流会は筋書きな交流会でありましたが、現地のインターアクトクラブ・ロータリアンから心暖まるおもてなしを受け、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めることができ実際親善、国際交流に貢献して頂き、海外研修の目的が達成できたと確信し、感謝いたします。

今回の海外研修の企画、実施を担当いただきました清風高校のインターアクトクラブの皆さん、顧問の中村先生・高橋先生に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。そして最初から最後まで全般にわたりお世話頂きましたガバナー事務所の栗正事務局長さんに感謝いたします。ありがとうございました。

同行頂きました顧問の先生方、そしてロータリアンの皆様方どうもありがとうございました。海外研修は来年も行われますのでご支援、ご協力のほどよろしく願いたします。

解団式(会食)を済ませ日本へ帰国の途に着きました。

